

諸外国における“みち”をテーマとした観光・地域振興の取り組み

松山 雄馬* 松田 泰明** 加治屋 安彦***

1. はじめに

近年、国際観光の重要性が増す中、道路においても観光振興への貢献が重要となっており、2007年1月に施行された観光立国推進基本法でも国や自治体の貢献が責務とされている。そのような背景の中、2004年から本格的に始まった「シーニックバイウェイ北海道」をはじめ、「日本風景街道」など、道路資産を有効活用し、地域に新たな活力と富をもたらす“みち”をテーマとした観光・地域振興の取り組みが進められている。

北海道では、海外からの観光客の急増に加え、その旅行形態も邦人同様、団体旅行から個人型旅行へ移行しつつある。また、シーニックバイウェイ北海道のような活動も一つの契機となり、アジアからの外国人観光客(写真-1)などに、車窓からの美しい沿道景観(写真-2)を楽しみながらのドライブ観光の人气が急上昇している(図-1)。

一方、諸外国においても、“みち”をテーマとした特徴ある様々な“街道プログラム”が展開されている。

本稿では、これら諸外国での主な取り組み事例を紹介すると共に、今後成長が期待される北海道における外国人ドライブ観光に関する取り組みについて考察する。



写真-1 シンガポールからのレンタカー観光客



写真-2 北海道の美しい沿道景観

2. 諸外国における“みち”をテーマとした観光・地域振興の取り組み事例

2.1 主な街道プログラムの概要

日本人等の観光客が多く訪れる先進諸国及び中国(図-2)を対象とし、既存資料・文献を中心に事例調査を行い、目的や特徴を整理した。また、各国の取り組み及び広報・PR活動の概要を簡単に表に整理した(表-1)。

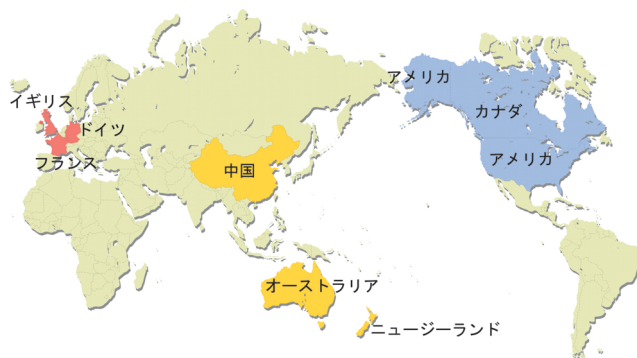


図-2 事例調査対象国

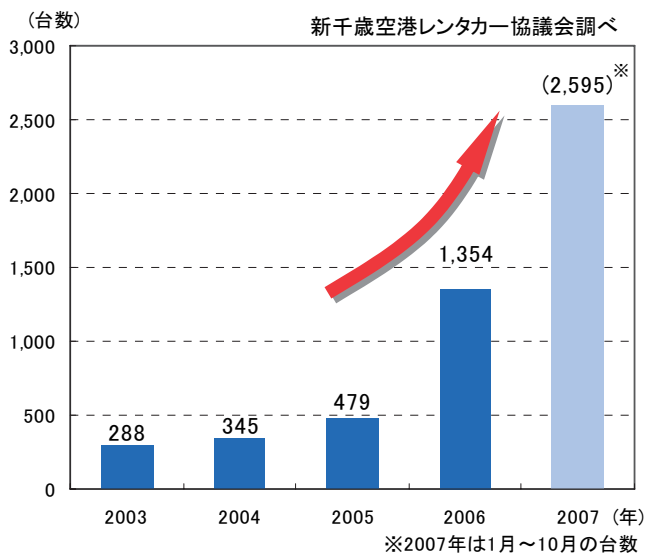


図-1 新千歳空港の外国人レンタカー貸出数

表－１ 諸外国の取り組み概要一覧

国名	プログラム等	主体	取り組みの性格	開始時期	指定の性格	ルート数	情報発信元	広報・PR手法	広報内容	Webの使用言語 (国数カウント)
ドイツ	ドイツ観光街道 (休暇街道)	ドイツ政府観光局 自治体等	・内発的取り組み ・関連組織による 一部日本に向けた 強力なプロモーション	1927年 (1950年に本格化)	主体が独自に選定	150以上 (地域や自治体 レベルで決定する ものもあるため 正確な数は不明)	政府観光局	Webサイト ガイドブック (8つの観光街道を対象 ノロマンチック街道は別 選評対象)	・ドライブルート ・観光案内 ・詳細マップ ・ドライブルート ・観光案内 ・詳細マップ	26カ国に対応 (日本語有り)
フランス	フランスの美しい道	フランス政府観光局 エールフランス	・関連組織による 日本向けプロモーション	2005年 (2年間のキャンペーン)	主体が独自に選定	10	政府観光局	Webサイト ガイドブック	・簡易的な観光案内 ・簡易的なドライブ ルート ・充実した観光案内	37カ国に対応 (日本語有り)
イギリス	ドライビング・イン・ブリテン	英国政府観光庁	・関連組織による 日本向けプロモーション	2005年	主体が独自に選定	5	政府観光庁	Webサイト ガイドブック	・簡易的な観光案内 ・ドライブルート ・観光案内	42カ国に対応 (日本語有り)
中国	観光道路 (高規格道路) 国家景観道	青海省交通局 青海省通信局	・関連組織によるプロモーション・誘致 ・基盤整備	2000年	主体が独自に選定	5	――	―― ――	―― ――	――
オーストラリア	遺産街道とツーリング ルート	タスマニア州観光・ 芸術・環境省	・内発的取り組み ・関連組織によるプロモーション ・関連組織による研究	2003年	主体が研究をふまえて選定	11	州観光局	Webサイト ――	・簡単なドライブルート ・簡単な観光案内 ――	9カ国に対応 (日本語有り)
ニュージーランド	ニュージーランド 8街道	政府観光局 陸運輸送庁	・関連組織による 日本向けプロモーション	2000年 (約7年間のキャンペーン で2006年に終了)	主体が独自に選定	8	政府観光局	Webサイト ――	・ドライブルート ・簡単な観光案内 ――	9カ国に対応 (日本語有り)
アメリカ	シーニック・バイ ウェイ・プログラム	連邦道路庁 US DOT	・内発的取り組み ・関連組織によるプロモーション	1989年(取り組み) 1996年(指定)	地元等の取り組みを主体が評価して認定	126 (連邦指定)	連邦交通省	Webサイト ガイドブック	・ドライブルート ・観光案内 ・詳細マップ ・ドライブルート ・観光案内 ・取り組み概要	日本語対応無し
カナダ	観光街道	オンタリオ州観光局	・関連組織による 一部日本に向けた 強力なプロモーション	1990年代	主体が独自に選定	18 (オンタリオ州 のTourist Routes)	政府観光局 州観光局	Webサイト ――	・ドライブルート (メープル街道のみ) ・観光案内 ――	10カ国に対応 (日本語有り)

・ドイツ観光街道(独)

【目的】1927年にドイツ・アルペン街道が設けられた後、戦後の経済復興を目的に1950年に約40ルート設定された。

【特徴】 街道の指定や認定に規制は設けておらず、現在はドイツ政府観光局や自治体によって独自に選定。「個人の休暇を楽しむための観点」で企画運営され、各地域の住民活動も盛んである(図-3)。

また、Web サイトやガイドブックでの広報・PR の効果は大きく、多くの日本人観光客が訪れるようになったと報告されている¹⁾。日本で知名度の高い「ロマンチック街道」は、外国人向けの PR のために企画されたものである。

・フランスの美しい道(仏)

【目的】従来の人気ルートから一歩奥にある「地域がもつ未知の魅力」を紹介し、新しい需要を掘り起こすことを目的としている。

【特徴】 フランス政府観光局が航空会社と共同で展開した観光キャンペーンであり(図-6)、フランス全土から選りすぐりの10エリアが政府観光局により独自に選定されている(図-4)。また、エリアの個性を味わえるよう、それぞれの道には個性的なテーマが設定され、沿線には観光地や地方独特の郷土料理等、地方独自の楽しみ方やアクティビティーが充実しており、2泊3日で楽しめることが可能な行程で「美しい道」を設定している。

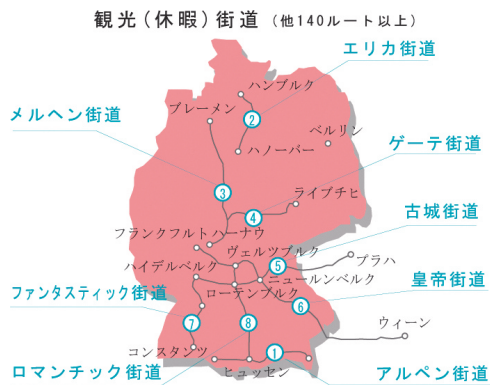


図-3 ドイツの主なルート²⁾

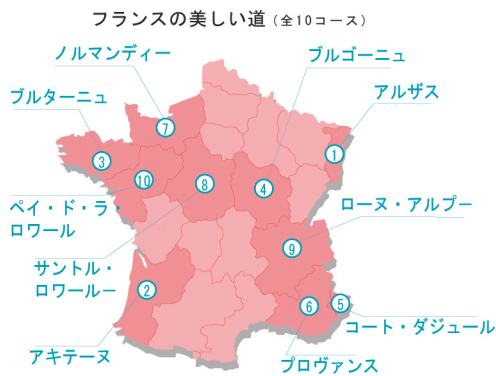


図-4 フランスの主なルート³⁾

・ドライビング・イン・ブリテン(英)

【目的】英国の魅力を伝え、より多くの観光客を取り込むことが目的。

【特徴】英国政府観光庁が2005年から、数あるドライブコースの中から5つを独自に選定し、おすすめのドライブコースとして広くPRするための取り組みである(図-5)。ドライブ観光客向けに1泊2日～2泊3日のコースが中心となっている。

またプロモーションに伴い、英国政府観光庁はHP上で紹介するとともに「5つのおすすめドライブコース&ドライブのためのアドバイス」(図-6)というガイドブックを作成。ドライブコース案内とともに観光案内が充実したものとなっており、英国での運転アドバイスが一通り分かるよう紹介されている。

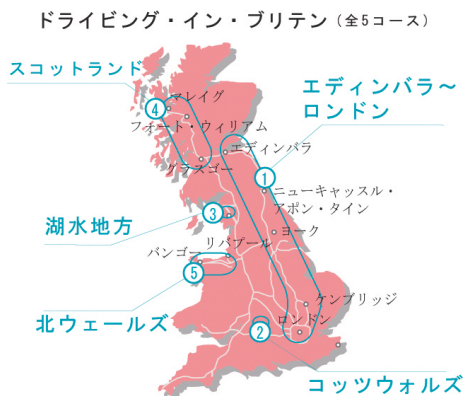


図-5 イギリスの主なルート⁴⁾



図-6 ガイドブックの表紙

左：フランス「フランスの美しい道」³⁾

右：イギリス「5つのおすすめドライブコース&ドライブのためのアドバイス」⁴⁾

・観光道路(中・青海省)及び国家景観道(中)

【目的】中国青海省内の観光資源の有効活用及び観光資源としての価値向上、地域の経済発展が目的。

【特徴】高規格道路5路線を観光道路に指定しており、地域の主要産業としてチンハイ・チベット高原の観光ツアーを促進することが決定されている。チンハイ湖を周遊するルートは整備され、国際的な自転車レース(写真-3)が開催されるなど、知名度の向上及び観光・経済の発展が実現されつつある。

【国家景観道】他に中国政府は、本年、国際的な知名度を上げる狙いで、長江の三峡地域の120kmを中国初の国家景観道として整備する計画を発表。



写真-3 チンハイ湖周遊高速道路における国際自転車レース⁵⁾

・遺産街道とツーリングルート(豪・タスマニア)

【目的】既存の遺産道路を軸として地域内の観光移動を活性化させることが目的。

【特徴】2003年に州観光・芸術・環境省がツアールート計画を策定(図-7)。通過観光の問題を解決するため、観光資源や街の特性からエリア別にSWOT分析・把握を行い、各エリアでのツアールート設定の戦略を構築し、住民との協働によるワークショップを通じて各エリアのアクションプランを策定している。タスマニア観光局では、遺産街道ならびに遺産街道とリンクしたルート等、11ルートを日本語のHPなどで紹介している。

遺産街道とツーリングルート(全11コース)



・Convict Trail-① ・Cradle Country-② ・East Coast Escape-③
・Great Nature Trail-④ ・Great Western Tiers-⑤
・Heritage Highway-⑥ ・Huon Trail-⑦ ・North East Trail-⑧
・Tamar Valley-⑨ ・Rivers Run-⑩ ・West Coast Wilderness Way-⑪

図-7 オーストラリアの主なルート⁶⁾

・ニュージーランド8街道(新)

【目的】 古くからの日本の「街道」にならい、旅行者や観光客にニュージーランドの各地域を簡単に理解してもらうことが目的(図-8)。

【特徴】 マーケティングの為のもので、実際には現地に「街道」の標識などはないが、政府観光局が提供しているパンフレットなどはすべて「8街道」のコンセプトに基づく。この取り組みは2000年からプロモーションとして進められてきたが、2006年、政府観光局の政策方針により休止。しかし、政府観光局のHP上では現在も8街道及びその他のルートの案内として、ルート毎の見所や、アトラクションが紹介されている。



図-8 ニュージーランドの主なルート⁷⁾

・シーニックバイウェイプログラム(米、米各州)

【目的】 道路自体が観光資源になり得ることに着目し、沿道の景観や歴史、自然、文化、レクリエーション、考古学的に意義のある道路を公的に認定し、その資源価値を向上させることが目的。

【特徴】 日本のシーニックバイウェイが参考としたプログラム。1989年の「シーニックバイウェイ法」制定をきっかけに本格的に活動。ルートにグレード設定があり、いずれも指定条件を満足する地域の資源や活動内容が条件(図-9)。



図-9 アメリカの主なルート⁸⁾

・観光街道(加・オンタリオ州)

【目的】 州高速道路や郡道、地域道、市町村道を活用して、自然景観に優れた地区や文化的・歴史的遺産、街並を結ぶ観光ルート(図-10)であり、1990年代に観光振興を目的に設定された。

【特徴】 各街道の沿道には街道区間を示す目的でシンボル(Trail icon: トレイル・アイコンと呼ばれている)が設置されている。カナダ政府観光局はHP上で、有名な遺産街道(通称メープル街道(図-11))の専用サイトを日本人観光客向けに立ち上げ、観光促進を積極的に進めている。観光案内が中心のガイドブックを独自に発行しているが、運転支援に関する情報提供は特に行っていない。

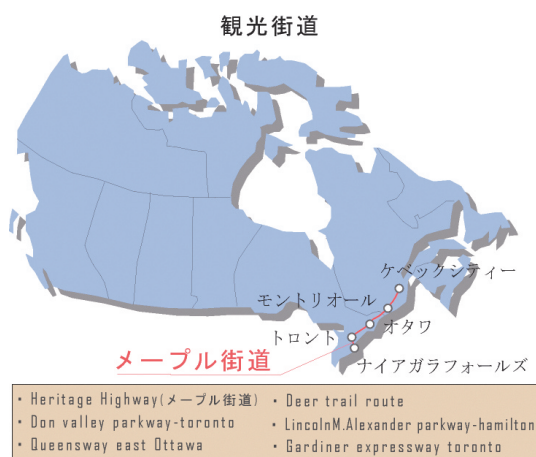


図-10 カナダの主なルート⁹⁾



図-11 メープル街道¹⁰⁾

2.2 外国人観光客のための安全で快適な運転支援の取り組み事例

外国人のドライブ観光増加によって、交通事故の増加が考えられるため、地理や交通ルールに不案内な外国人への安全で快適な運転支援も重要となる。

・ニュージーランドの事例

年間60万人の外国人がレンタカーで移動する同国では、陸上交通安全局が大学と共同でこれらに関する調

査研究を進めている。この研究では、外国人ドライバーに対しての安全運転啓発や交通ルールの周知、交通事故対策が重要とし、特に道路・交通事情が異なるアジアなどの非英語圏からの観光客に対し、情報を適切に提供していくことが、観光客の安全な移動に繋がると指摘している。特に、計画・準備段階において、国内の交通法やルールなどの適切な内容を効果的な手段で提供していくことを薦めている¹¹⁾。

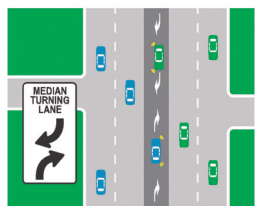
・オーストラリアの事例

ニューサウスウェールズ州では、独自で「道路利用者のハンドブック」(図-12)を作成し、道路に関する実用的な情報、運転ルール、交通違反の罰金等を紹介している。内容は充実したものとなっており132頁におよぶ。ハンドブックはWebサイトからダウンロードでき、外国人も旅行計画に活用できるよう11カ国語対応となっている。

5 一般道路規則

中央ターン車線

どの方向に移動している車でも、対向車線側の私道または建物の所で道路から出入りするため、この車線を使うことができます。これらの車線には標識の付いた柱または路上表示があり、共有部分になっています。中央ターン車線を使用している車は、他の車を妨害しないようにしなければなりません。



特定目的車線

一部の道路には、トラック、バス、自転車など、特定の車両向けの車線があります。この車線の開始地点と終了地点にある標識は、その目的を示しています。

トラック専用車線

GVW4.5トンを越えるトラック以外は、この車線を使用できません。



TRUCKS USE LEFT LANE (トラック専用左車線)

TRUCKS USE LEFT LANE (トラック専用左車線)の標識がある場所では、他に指示する標識がなければ、トラックは左の車線を使用しなければなりません。他の車両でもこの車線を使うことがあります。(これは、標識にBUSES (バス) やTRUCKS & BUSES (トラックとバス) と記載されている場合にも適用されます。)



自転車専用車線

道路に自転車専用車線がある場合、自転車はその車線を走行しなければなりません。この車線は自転車のみが使用することになっていますが、他の車両も私道や交差点から道路に出入りする際に、最大50メートルまで使用できます。



道路利用者のハンドブック-印刷用バージョン 88

図-12 「道路利用者のハンドブック」内容例¹²⁾

3. まとめ

3.1 参考となる諸外国の取り組み内容の整理

本稿で紹介した諸外国における“みち”をテーマとした取り組みの性格を整理すると以下の通りまとめら

れる。

①街道プログラム・システムの構築

- ・国全体のプログラム推進の重要性和共に、地域資源や環境に応じた地域独自の観光プログラムの構築。

②プロモーション活動と外国語による旅行計画支援

- ・外国人観光客の特性やニーズの把握とそれに合わせた広報・PR戦略。
- ・道路・交通・観光など、各関係機関が連携した計画準備段階における外国人向けの積極的な情報発信によるドライブ支援。
- ・交通事故の増加が懸念されるため、外国人ドライバーに対する安全運転支援。

③旅行スタイルの戦略的かつ具体的提案など

- ・ドライブ観光を前提とした、地域固有のテーマ設定や街道エリアでの様々な楽しみ方やアクティビティの充実。
- ・ドライブ観光にあわせた日程(1泊2日～2泊3日)で楽しめるエリアやルートを設定し、複数のルートを組み合わせた旅行計画が出来る工夫や旅の提案。

これら諸外国の“街道プログラム”はいずれも美しい沿道景観や個性ある固有の文化遺産を多く有しているが、地域の人々の内発的な取り組みや、関連組織による積極的な広報・PR活動、印象的なアクティビティの充実や旅行スタイルの戦略的提案等が行われていることが、現在に繋がっていると考えられる。

北海道においても、これら諸外国の取り組みを参考とすることが必要である。

3.2 北海道における今後の取り組み提案

本稿で紹介した諸外国の事例や、北海道における外国人ドライブの実証実験の結果¹³⁾などから、北海道における今後の取り組みについては、以下のことを提案したい。

- ・ 質の高いサービスと外国語による積極的な広報、特に計画段階からのドライブ観光の情報提供と利便性向上。(例:「北の道ナビ」による4カ国語(中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、英語)での道路関連情報の提供。2005年6月から実施しており、年々アクセス数が伸びている(図-13)。)
- ・ 官民が協力してエリアやルートなど、地域固有の資源そのもの(沿道景観・食・温泉など)の魅力向上(例:「シーニックバイウェイ北海道」の展開、2004年4月から実施)
- ・ 訪れた外国人旅行者等、利用者による評価が施策

や地域の魅力向上、利便性向上に反映されるシステムの構築。

- 北海道においては当面、①冬期に豪州などから訪れるスキーヤーや②来道観光客数の半数を占め、2007年9月から日本での運転が可能となった台湾人観光客のレンタカー運転への自国語でのドライブ支援情報の提供。

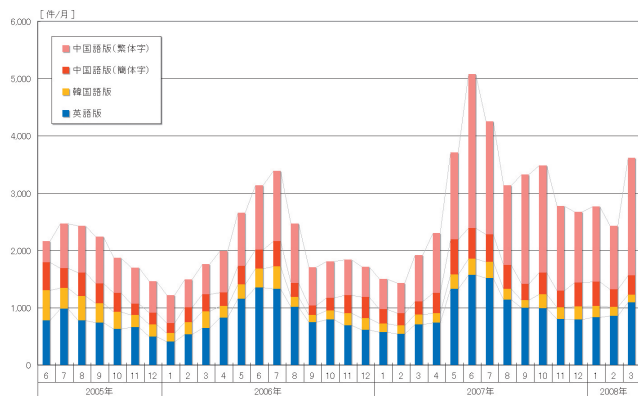


図-13 北の道ナビ【多言語版】のアクセス状況

4. おわりに

個人型のドライブ観光は世界的な競争市場にさらされている中、既存の研究¹⁴⁾からは、レンタカードライブ観光をする外国人観光客は高い所得と教育を受けている人が多いとの結果がある。さらに、北海道観光に訪れる外国人も海外旅行経験が豊富な富裕層が多かったと報告されており¹³⁾、近年、外国人による北海道レンタカードライブ観光が増加している現実がある。

そこで日本国内では、国の新しい「観光立国推進基本法」による観光重視の流れにより、環境に配慮しながら、新しいクルマの旅を推進・創造する「自動車旅行推進機構(カーたび)」¹⁵⁾が設立され様々な取り組みが実施されている。

また、北海道では、今後増加が見込まれる外国人観光客によるドライブ観光の促進、及び外国人観光客が快適にドライブ観光できる環境の整備やPRによるさらなる外国人観光客の増加を目的に「北海道外国人観光客ドライブ観光促進連絡協議会」が設立され、官民一体となった取り組みが実施されている。

今後、地域景観ユニットでは、この様な取り組みを参考にしつつ、行政機関等と連携しながら、北海道における快適なドライブ観光の創出に向けて調査研究を進めていく予定である。

参考文献

- 1) 「ドイツの観光街道と日本市場」観光文化、財団法人日本交通公社、1996.3
- 2) 「広域・複合連携による観光と交流街道づくり」財団法人北海道地域総合振興機構、2000
- 3) ガイドブック「フランスの美しい道」、フランス政府観光局発行
- 4) ガイドブック「Driving in Britain」、英国政府観光庁発行
- 5) Tour of Qinghai Lake International Road Cycling Race Organizing Committee Office
- 6) タスマニア観光局 HP : <http://www.discover-tasmania.com.au/home/index.cfm/>
- 7) <http://www.newzealand.com/travel/ja/trade/training-tools/select-a-module/modules/htsnz---japan/section-three/eight-kaido-heritage-&-pacific.cfm>
- 8) シーニックバイウェイ HP : <http://www.byways.org/>
- 9) カナダ政府観光局「メープル街道」: <http://www.canada.or.jp/>
- 10) <http://wadaphoto.jp/kikou/can0.htm>
- 11) Land Transport Safety Authority「Tourist Road Safety in Otago and Southland」, 2004, <http://www.ltsa.govt.nz/research/overseas-tourists/index.html>
- 12) http://www.rta.nsw.gov.au/licensing/downloads/gettitestsdriveduca_dll.html?plid=3
- 13) 北海道における地域協働型外国人ドライブ観光推進調査報告書、外国人ドライブ観光推進協議会、2007.1
- 14) A report commissioned by the Land Transport Safety Authority, Tourist Road Safety in Otago and Southland.
- 15) カーたび「自動車旅行推進機構」HP : <http://www.car-tabi.jp/>



松山 雄馬*

前 寒地土木研究所
寒地道路研究グループ
雪氷チーム・地域景観
ユニット(兼務)
研究員



松田 泰明**

寒地土木研究所
寒地道路研究グループ
雪氷チーム・地域景観
ユニット(兼務)
主任研究員



加治屋 安彦***

寒地土木研究所
寒地道路研究グループ
雪氷チーム・地域景観
ユニット(兼務)
上席研究員
博士(工学)
技術士(建設)